

## 共有したくなる宿



## 学生建築デザインコンペ

## 未来のとびらコンテスト 2022《大学生版》

## 審査員長コメント

今回の課題は「共有したくなる宿」です。宿は、家のことでもあり、また旅行者の宿泊所という意味で用いられることもあり、仮の宿といえは一時的な住まいのことを意味したりします。我々はどんな空間や場所を他の人たちと共有したいでしょうか。いろんな人が出入りし賑わう湯治場だったり、または世界旅行の遊覧船のようなものもあるかもしれません。お遍路さんを歓迎する巡礼の道も、共有したくなる宿と言えるかもしれません。どういう空間や場所が皆で共有し分かち合うと素晴らしいか、自由に考えてくださることを期待しています。

〈西沢立衛〉

審査員長  
(敬称略)

西沢 立衛

建築家・SANAA・西沢立衛建築設計事務所  
横浜国立大学大学院建築都市スクールY-GSA 教授審査員  
(敬称略)

大西 麻貴

建築家・一級建築士事務所 大西麻貴+百田有希 / o+h  
横浜国立大学大学院建築都市スクールY-GSA 教授

百田 有希

建築家・一級建築士事務所 大西麻貴+百田有希 / o+h

三協アルミ役員 1名

西沢立衛  
© Office of Ryue Nishizawa

大西麻貴



百田有希

## 参加資格

日本国内の専門学校、短大、大学、大学院において建築、デザインなどを学ぶ学生の、個人またはグループ(3名まで)。国籍は問わない。

※グループで参加の場合は、全員が学生であること。

※2次審査の時点で在学中であること。

## 提出期限

2022年10月7日(金) ※必着

## 1次審査

2022年11月上旬

## 2次審査

2022年12月8日(木)

最優秀賞(1点) 副賞 30万円

優秀賞(3点) 副賞 15万円

特別賞(数点) 副賞 10万円

三協アルミ賞(1点) 副賞 15万円

※三協アルミ賞は、「新しい発想の建材提案(任意)」を含む作品の中から三協アルミが選出する賞。



# 未来のとびらコンテスト2022《大学生版》 作品募集要項

## 課題

### 共有したくなる宿

あなたが思う宿とはどのような場所でしょうか。

その歴史は旅人に家の土間や物置を提供したことからはじまり、やがて時代の流れとともに旅人を迎えててなす場所が宿と言われるようになりました。また宿場町のように宿を中心として町全体が栄えた場所もありました。今ではホテル、旅館、ゲストハウス、ロッジなど宿の姿は多様ですが、さまざまな目的を持った人が集う場所であることは、昔も今も変わらないのではないのでしょうか。

訪れた人にとってそこは、旅の疲れを癒す場所、その土地の食や文化を楽しむ場所、あるいは旅先で出会う人とのふれあいを楽しむ場所でもあるでしょう。

色々な目的を持って集まった人々が、空間や時間をわかち合い、その土地の文化を共有し、思い出をシェアしたくなるような宿とは。

新型コロナウイルス感染症拡大により、外出や旅行などの行動が制限され人との繋がりが少なくなった今、あらためて人とのふれあい、人の温かさを感じられる空間を考えてみませんか。

1人で過ごす人も仲間と過ごす人もくつろげる空間、宿泊者同士が会い語り合う空間、そこに暮らす人々の日常の一部が旅行者には非日常を楽しむ空間・・・そんな人と共有したくなる、人に共有したくなる、自由な発想の宿の提案を募集します。

「空間についての提案」には当社商品を必ず1点以上使用した提案としてください。

また、「共有したくなる宿」にふさわしい「新しい発想の建材提案（任意）」も併せて募集します。

※「新しい発想の建材提案」は空間提案の中で自由な発想であつたらいいなと思う建材を提案してください。

### 提出図面

主旨、配置図、平面図、立面図、断面図、アイソメ・パース等を1枚にまとめたものを提出。パネル不可。

※全てA2サイズ（タテ）のケント紙または同等の厚紙1枚に記載し、郵送にて送付。

※表現は、鉛筆、インキング、着色、模型写真添付、手書きもしくはCADなどいつでも自由。額装・パネル化、立体（突起物や凹凸）は不可。

※材質、色、照明効果がわかるような図面、パース、模型等を作成すること。

※その他便宜コンセプト説明に必要な図面や新しい発想の建材を説明するために必要なものなど含めて提案。

※使用した建材の当社商品名を図面に明記してください。

### 応募期間

2022年6月10日（金）～2022年10月7日（金）必着

### 応募登録

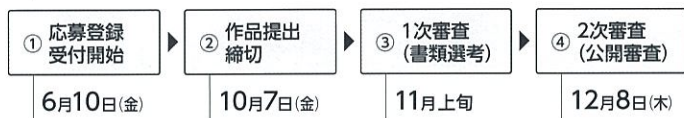
本コンペに応募される方は、下記コンテストサイトから登録を行ってください。必要事項を入力し送信後、e-mailで登録票と提案主旨記入用紙（400字以内）が交付されます。この登録票と提案主旨記入用紙は応募の際に必要となりますので、各人で記録・保存してください。

※当社コンテストサイト

<https://alumi.st-grp.co.jp/kenchiku/>



スケジュール



### 作品提出先

作品を提出する際には、必ず応募登録時にe-mailにて送付された登録票と提案主旨記入用紙（400字以内）に必要事項を記入の上、作品裏面へ貼付して下記送付先へ郵送願います。持込み、バイク便は不可。

※送付先

三協立山株式会社 三協アルミ社  
「未来のとびらコンテスト〈大学生版〉」事務局  
〒933-8610 富山県高岡市早川70

### 審査方法

■審査は2段階審査方式で行います。1次審査ですべての応募案の中から2次審査に進む上位作品を選出します。

■2次審査は、1次審査を通過した上位作品のプレゼンテーション、質疑応答、審査会を経て、最優秀賞、優秀賞、特別賞を決定します。

■三協アルミ賞は、「新しい発想の建材提案（任意）」を含む作品の中から、三協アルミが選出します。

【1次審査】2022年11月上旬

■1次審査の結果は、通過者に通知すると共に、エントリーサイト、当社コンテストサイトにて発表します。

【2次審査+表彰式】2022年12月8日（木）

場所：ホテルニューオータニ高岡（富山県高岡市新横町）

■2次審査+表彰式にご出席いただき、5分程度の作品プレゼンテーションをお願いいたします。審査員との質疑応答、審査会を経て最優秀賞、優秀賞、特別賞を決定します。1次審査通過者であっても、2次審査に出席できない場合は選外となりますのでご注意ください。2次審査終了後、すべての賞の表彰式を行います。

※2次審査用資料の詳細は、1次審査後、通過者の方にすみやかにお知らせします。

■表彰式翌日は「金沢21世紀美術館」を設計した西沢立衛氏と建物の見学、及び当社工場見学を予定しています。

■会場までの交通費、2次審査+表彰式当日の宿泊費等は主催者側の負担といたします。なお、前泊が必要な場合は、各自負担にてお願いします。

■新型コロナウイルス感染症拡大の状況等により、審査方法、日程等を変更する場合があります。

### その他

- ・応募は未発表のオリジナル作品に限ります。
- ・応募作品に含まれる発明、考案、意匠の創作、著作物等に関する知的財産権は応募者に帰属します。ただし、入選作品の発表・掲載に関する権利は主催者が保有します。また、応募作品の知的財産権の実施に対する交渉権は主催者が専有し、実施の場合の帰属、対価等の取扱いについては主催者と応募者との協議により決定することとします。
- ・応募作品に使われる写真、図面、その他の要素全てについて第三者の知的財産権を侵害するものであってはなりません。知的財産権侵害のおそれがある場合は、入選を取り消すことがあります。
- ・応募作品は返却いたしません。必要な場合はあらかじめ複製をしておいてください。
- ・応募内容（課題）に関しての質疑応答はいたしません。課題に規定されていない問題は応募者の自由決定を可とします。ただし、当社商品に関する問合せについては当社コンテスト事務局へメール<spcontact@st-grp.co.jp>にて問合せ願います。

### 個人情報の取扱

応募用紙に記載された個人情報は、応募に関する結果連絡等に利用すると共に、受賞者の了解を得た上で受賞作品と共に当社ショールーム、ホームページ、展示会等で公開させていただきます。また、応募いただいた個人情報は適切・厳重に管理し、上記目的以外に応募者の了承無く第三者に提供することはありません。